

2018年6月5日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

## チャットボットの開発プラットフォーム「Benefitter」を提供開始 AIの活用や業務システムとの連携でチャットを使用した業務効率化を実現

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、AIを活用したチャットによるユーザーとの対話を実現する開発プラットフォーム「Benefitter(ベネフィッター)<sup>\*1</sup>」の提供を本日から開始します。Web やスマートフォンアプリを通じたユーザー対応の強化や対応業務の効率化を検討する企業を中心に、3年間で3億円の売上を目指します。

近年、チャットボットを利用したコミュニケーションは、マーケティングやカスタマーサポートなどで業務を効率化する有効な手段として活用されています。複雑な対話を可能とするためにAIとの連携も進んでいますが、要件に応じたAIの選定や対応のチューニングには未だ専門的な知識が必要です。

この度提供を開始するBenefitterは、LINEをはじめとした主要なメッセージングアプリやブラウザチャットに対応したチャットボットを作成し、AIを活用してユーザーとの対話型システムを実現するチャットボット開発のプラットフォームです。環境を視覚的に設定できるGUI(Graphical User Interface)を備えており、目的に応じたチャットボットを容易に作成することができます。

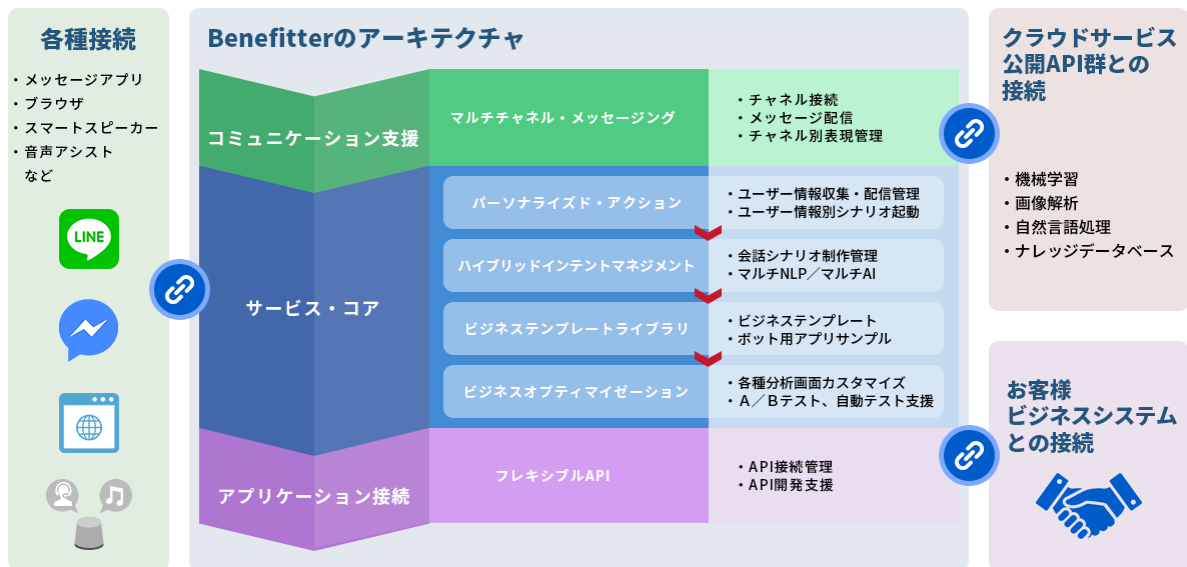
会話シナリオの制作や利用状況の分析に加え、複数のメッセージングアプリでのチャットボットの一元的な管理や、AIを活用したパターン化されていない質問への対応、ユーザーの特性判断、シナリオの良否を判定するA/Bテスト<sup>\*2</sup>などの機能を備え、商品説明や問合せ対応などの複雑な対話の自動化と効率的なチャットボット開発を可能にします。

CTCは、AIやCRMなどのソリューション提供で蓄積されたノウハウをもとに、チャットボットで使用するAIの選定や活用、業務システムとの連携を含めてお客様に最適なチャットボット環境を構築します。

ユーザーとの接点となるセールスプロモーションやカスタマーサポートでBenefitterを使用することで、ユーザーの要望に応じた必要な情報の提供や次のアクションへのスムーズな誘導が可能になります。

今後は、音声認識の機能を拡充によるスマートスピーカーへの対応も予定しており、Benefitterを通してお客様のカスタマーリレーションシップ強化に貢献していきます。

■Benefitter ソリューション図



■Benefitter ソリューション Web サイト

<http://www.ctc-g.co.jp/solutions/benefitter/index.html>

以上

※1 Benefitter は商標登録出願中です。

※2 A/B テスト: 複数パターンでのテストを実施し、効果の高いパターンを採用する Web マーケティングの手法。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

TEL:03-6203-4100 / E-mail: [press@ctc-g.co.jp](mailto:press@ctc-g.co.jp)